

2013年8月22日

日本臨床心理士養成大学院協議会
石川啓 会長 殿

臨床心理士の職業的専門性と資格を考える有志の会
代表 平井正三

拝啓

残暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

われわれ「臨床心理士の職業的専門性と資格を考える有志の会」（以下、有志の会と記す）は、日本臨床心理士会が推進する「心理師」国家資格案（以下、現行案と記す）について、同封の要望書を作成し、署名活動を行いました。有志の会は10名に満たないメンバーで構成される会ですが、署名活動を7月14日に開始してからわずか一か月という短期間のうちに730名の方にご署名をいただきました。このことは、多くの臨床心理士が現行案について強い関心と懸念を抱いていることを示しています。その観点から、臨床心理士養成大学院協議会と理事のみなさまにも、われわれの活動にご理解とご協力を賜りたく、以下の点をご依頼いたします。

- ・同封した「資料」（有志の会が作成）の配布を通じた、会員に対する心理師資格問題の周知
- ・心理師資格問題について貴重な情報を掲載した、有志の会ホームページ（<http://rinshoshinri.web.fc2.com/>）の周知
- ・「臨床心理士の職業的専門性と資格を考える有志の会」による要望書への署名活動への協力

更に有志の会は、日本臨床心理士会が表明した下記の見解について、理事会で取り上げていただきたく、お願い申し上げます。

日本臨床心理士会の法制化プロジェクトチームが7月31日に発行した「資格問題 Q&A」（<http://www.jsccp.jp/suggestion/license/pdf/shikaku-QA.pdf>）A2には「もともと＜臨床心理士＞は、その創設当時心理職の国家資格化がすぐには実現できないため、将来の国家資格化につなげるための「一階梯（ひとつのステップ）」として作った資格です」と明記されています。臨床心理士資格を「国家資格化のためのステップ」と位置づける日本臨床心理士会の見解は、臨床心理士資格取得を目指して大学院教育を受けてきた臨床心理士と、その養成にあたってきた大学院をないがしろにする、看過できない見解であると有志の会は受け

止めています。この件もどうか理事会にて話題にさせていただきよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

「臨床心理士の職業的専門性と資格を考える有志の会」

代表 平井正三

平井正三 

連絡先：

臨床心理士の職業的専門性と資格を考える有志の会 事務局

御池心理療法センター内

〒604-8187 京都市中京区東洞院通御池下る笹屋町 444 初音館 302

TEL/FAX 075-251-0350

e-mail : cpyuhshi2013@yahoo.co.jp

HP: <http://rinshoshinri.web.fc2.com/>

同封書類

要望書署名 730名分 (360-)

「国家資格「心理師」創設についてのインフォームド・コンセント」資料